

# ジャン・ボベロ教授 特別講義

## 現代社会と宗教：

## ケベックのブシャール＝テイラー報告をめぐって

ライシテlaïcitéは非宗教性・政教分離などと訳されてきたが、いまや訳語として市民権を得つつある。ライシテはフランス共和国の憲法原理でもあり、フランス社会を理解する鍵となっている。ボベロ教授はライシテを「フランス的例外」とせず、政教関係の国際比較(日本を含む)を行っている。来日中のボベロ教授の講義を聴くことは、異文化理解を考える上で非常に有意義であろう。

**講師：ジャン・ボベロ(Jean Baubérot)**

**日時：5月21日(金) 3時限 (13:00～14:30)**

**場所：明治大学和泉校舎 第一校舎4階 414教室**

### **Jean Baubérot 略歴：**

宗教社会学者。ライシテ学会創立者。パリ高等研究院EPHE名誉学長。著書多数。最近の邦訳に『フランスにおけるライシテの歴史』(三浦信孝・伊達聖伸訳、白水社文庫クセジュ、2009)がある。

コーディネータ：小畑精和教授  
後援：日本ケベック学会

予約不要：学部生の受講可

学外の方も受講可能です。

事前にお電話ください。

教養デザイン研究科 TEL:03-5300-1544